

骨髄バンク・さい帯血バンクを
身近なものに

造血幹細胞事業広報誌 バンク バンク

B A N K !
B A N K !

みんなでつなぐいのちのボタン

VOL.
11
2018

TOPICS

トライ▲アングル▲トーク
～さい帯血バンクがつなぐ命～

見て、知って「なるへそ」! さい帯血講座

クイズの答えを考えよう!

BANK DE QUIZ

BANK!BANK! 広報スタッフから、読者の皆さまへメッセージ
つながるメッセージ



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

見て、知って「なるへそ」! さい帯血講座

「さい帯血バンク」という言葉を初めて聞いたあなたへ、さい帯血バンクのアレコレお教えします!

さい帯血って何?

さい帯血とは、ママと赤ちゃんを結ぶへその緒(=さい帯)と胎盤の中に流れる血液のことです。

さい帯血には、血液をつくる細胞(=造血幹細胞)がたくさん含まれています。



どのように使われるの?

白血病などの病気で血液を正常につくれなくなった患者さんに、さい帯血を移植することによって、患者さんの血液をつくる力を回復させることができます。



公的さい帯血バンクって何?

さい帯血移植には、患者さんの体重やHLA(白血球など全身の細胞にある型)に適したさい帯血を使います。そのためには、たくさんのさい帯血を保存しておく必要があります。さい帯血の採取、調製、保存、検査と、移植病院への引き渡しを行うのが公的さい帯血バンクです。

「さい帯血プライベートバンク」とはどのように違うのでしょうか?

さい帯血プライベートバンクは、公的さい帯血バンクとは異なり、国の許可を得た事業者ではないため、さい帯血の調製・保存などは国が定める基準と同様に行われているとは限りません。また、さい帯血プライベートバンクでは、本人や家族が将来治療に使うことができるようになる可能性を想定して、保存を希望される方から費用を受け取ってさい帯血を保存しています。

一方、公的さい帯血バンクでは、さい帯血を無償で提供していただき、移植を必要とする患者さんのために保存しています。

BANK DE QUIZ

クイズの答えを考えよう!

Q.公的さい帯血バンクに、さい帯血を提供できる施設は
全国で何か所でしょう? (平成30年6月現在)

A.92か所 B.47か所 C.141か所



トライ▲アングル▲トーク ～さい帯血バンクがつなぐ命～

実際にさい帯血を提供した人、移植を受けた患者さん、出産の現場でさい帯血を採取する医師の目線でお話をうかがいました。様々な人の関わりで、赤ちゃんから患者さんへと命がつながっています。

Q.1

どうしてさい帯血を提供しようと思ったの？

私は貧血気味なので献血できないことが多く、さい帯血なら協力できるかもしれないと、出産の機会があれば提供したいと思っていました。いざ妊娠して自分が産まれた病院での出産を希望したら、病院でさい帯血バンクに協力していたのでそこで出産することを決めました。



お母さんにとっても
赤ちゃんにとっても
生きる自信につながります

Q.2
出産のとき、
さい帯血をとられて
いることはわかるの？

出産直後に外に出た胎盤とへその緒がつながった状態で、へその緒から採取していたようで、「取られている」という感覚は何もありませんでした。まあ、出産自体でへとへとになっているので、実際はそれどころではありませんでした(笑)。

PICK UP PHOTO



子どもが小さいころからずっと仲良しです



長女の成人式! あっという間の20年でした



家族で沖縄へ世界遺産を見に行きました!

pick up photo



著書に関してご紹介
「治るという前提でがんになった情報戦でがんにつく」(幻冬舎)
脳腫瘍、悪性リンパ腫を克服するまでの闘病経験と、そこから学んだ病に立ち向かうための知恵を綴った高山さんの著書。

私の心の支えの家族です

造血幹細胞移植を受けた
きっかけは？

悪性リンパ腫のときは怖くて移植を避けていました。でも、急性骨髄性白血病になった時は「移植は避けられない」と言われ、腹をくりました。移植って手術室でやと思っていたけれど、さい帯血移植は注射なんです。移植後は新しい造血幹細胞が残ったガン細胞をやっつけていくのですが、治療中も今も細胞が闘っている姿をイメージしながら、さい帯血に名前なんか付けたりして(笑)応援をしています。

patient

Q.2

実際に移植を受けて
変化はありましたか？

移植後は高熱や腹痛、その他にも色々な合併症やGVHD※があり大変でしたが、「絶対に娘の20歳の誕生日を家族3人でおいしいお酒で乾杯してお祝いする」という強い思いで乗り切ることができました。今は、移植に対する考え方も大きく変わり、目の前の一つ一つの出来事に的確に対処すれば、乗り越えられないことではないと思うようになりました。

※GVHD…移植片対宿主病

Q.1



Q.3

ドナーへの思いを聞かせてください
母子をつなぐへその緒からいのちを分けてもらったおかげで自分の命がつながった、という言葉にならない感謝があります。どこかに私と血がつながった親子がいるんだと思うと不思議な気持ちですね。直接お礼を言えないので、ブログや本で自分の経験を他の患者さんやそのご家族と共有することで、間接的な恩返しになればと思っています。



へその緒から
命を分けてもらった
言葉にならない感謝があります

Q.4

読者へのメッセージを
お願いします

自分や身近な人が血液のガンになっても、今は助かる道があります。実際そのおかげで、病気を乗り越えて元気に生きている患者がたくさんいるということを、どこかで覚えておいてほしいです。今、健康な人も「自分の行動で一人の人の命が直接的に救える、命がつながっている」ということを考えてみてくれればうれしいです。

BANK
DE
ANSER

正解：①
公的さい帯血バンクに、さい帯血を提供できる産科施設は全国で92か所。ここでの採取で移植に必要なさい帯血をほぼカバーできています。採取施設を増やす必要があるときには、鈴木先生のような方々と連携して施設の確保をしています。ちなみに②の141か所は、献血ルームの数です。(平成30年5月現在)

さい帯血を採取するとき
心がけていることは？

安全を最優先にする前提で、なるべく妊婦さんの希望に沿うようにしています。ただ、中には出産自体のリスクが高い場合もありますので、特に問題なく採取できるときは、妊婦さんへの負担はほとんどなく、確実に取るよう集中します。

Q.1

Doctor

Q.2

どのくらいの頻度で
さい帯血を採取して
いるの？

当院は年間約2,000件の出産のうち200人くらい申し出があります。そのうち、実際にできるのは40人くらい、治療に使われるのは、さらにその1割くらいです。採取の数は増えていますが、患者さんによって条件に合うさい帯血は異なるので、多くのさい帯血が必要です。

さい帯血
豆知識

さい帯血はどこでも提供できるわけではなく、公的さい帯血バンクと提携している産科病院で行われています。葛飾赤十字産院では、妊婦さんがポスターなどを見て希望の意志を示された場合に採取しています。妊婦さんには、採取時に「お母さんと赤ちゃんに影響はない」ことの説明に加えて、採取したさい帯血が国内外の患者さんの移植や未来の医療のための研究に使われること、安全性を確保するためのアンケート等に協力してもらうことにご理解頂いたうえで採取を実施しています。

さい帯血は
どうやって取るの？

赤ちゃんが生まれた後、へその緒(さい帯)を機器で挟んで血流を遮断し、切断した後に胎盤につながっているさい帯血の血管からさい帯血を採取します。この採取は、さい帯血と胎盤に残っている血液だけを集めるので、赤ちゃんはもちろん、妊婦さんにとっても全く危険はありません。

Q.3

安全な満足できる
出産が第一です
協力してくれる妊婦さんには
感謝しています

Q.4

出産を予定している方への
メッセージをお願いします

あくまでも出産の優先順位としては、第一に安全、第二に満足な出産です。その次に、もし出産する病院が採取をしていれば、公的さい帯血バンクへの提供を考えていただければと思います。自ら協力してくれる妊婦さんに対しては心から御礼を申し上げたいです。

つなげよう「ありがとう」

骨髄ドナーの登録窓口やさい帯血の提供ができる産科施設はポータルサイトでチェック！
QRコードからアクセスできます。

骨髄バンク・さい帯血バンクポータルサイト

bmdc 検索 www.bmdc.jrc.or.jp/



「パンフレット図書」から
バックナンバーも
閲覧できます



造血幹細胞
移植情報サービス



想いを言葉にかえて

ポータルサイトにある「つなげるメッセージ」では「BANK!BANK!」を読んで考えたこと、感じたことなど、ご意見を募集しています。

Facebook・Instagram [bankbank.jrc](https://www.facebook.com/bankbank.jrc)



トライ▲アングル▲トークのロングバージョンは、Facebookで確認できます！

つなげるメッセージ

BANK!BANK! 広報スタッフから、読者の皆さまへメッセージ！



日本赤十字社
関東甲信越ブロック
血液センター
総務部 総務企画課
京極 徳幸 さん

Q.普段どのようなお仕事をされていますか？

関東甲信越地域(1都9県)の血液センターと連携し、献血の必要性や日本赤十字社が行う血液事業に関する情報を、多くの方に知ってもらうための広報業務を担当しています。
「献血はやったことがない」「あまり興味が無い」といった方にも献血のことを分かりやすくお伝えし、一人でも多くの方に献血を身近に感じていただけるよう、日々仕事に励んでいます。

Q.お仕事の中で印象に残ったエピソードを教えてください

私が働く血液センターには、赤十字の活動を支えてくださっている個人・団体の方々施設見学に来られます。来場者の中には既に献血ができる年齢を超えた方もおり、「もう少し若ければ献血できたのに」というお声をいただくことがよくあります。そんなお声を耳にすると、協力したいと思ったときに献血できることが、いかに貴重なことかを実感しています。

Q.読者へのメッセージをお願いします

骨髄バンクやさい帯血バンクは、献血と比べるとあまり馴染みのない言葉だと思います。私自身、この広報誌の制作に関わることで、その重要性を改めて実感しました。「BANK!BANK!」は若手職員が中心となり、同世代の読者の方に興味を持ってもらえる内容を試行錯誤しながら制作しています。そんな想いが少しでも多くの方に届くことを願っています。

日本赤十字社

患者さんに適合する「さい帯血」や「骨髄ドナー」をインターネットでいつでも探すことができるように、「さい帯血」や「骨髄ドナー登録者」の情報の管理や必要な検査を行っています。

BANK! BANK! とは

2つのバンク【骨髄バンク・さい帯血バンク】の理解を深めるための広報誌。全国から集まったメンバーが制作に参加し、毎月異なるテーマをわかりやすく解説。骨髄・さい帯血に含まれる造血幹細胞(血液を作る細胞)を、より多くの患者さんに安全に届けることを目指して活動しています。

骨髄バンクへの関わり

全国の献血会場で骨髄ドナー登録の受付や、パンフレットなどによる普及活動をしています。

さい帯血バンクへの関わり

全国6つの公的さい帯血バンクの運営をサポートしています。さい帯血の品質を向上させるための研修や、さい帯血バンクを知ってもらうための普及活動をしています。

今回の
BANK!
BANK!

知っていましたか？ 10月は「骨髄バンク推進月間」というコト。そこで、秋発行予定の次号は骨髄バンクをテーマにした情報をお届けします！